

あ

- あ 亜(亞)〔ア〕 ㊦亜流, 亜麻, 亜鉛, 亜寒帯, 亜熱帯, 亜硫酸
- ああ ああ(嗚呼・噫) ㊦～悲しい。
- あい 哀^{アイ}〔あわれ・あわれむ〕 ㊦哀感, 哀愁, 哀願, 哀悼, 悲哀
- あい 挨〔アイ〕 ㊦挨拶
- あい 愛^{アイ}〔アイ〕 ㊦愛情, 愛読, 愛惜, 親愛, 恋愛, 愛する人, 母の愛 *愛媛県(えひめけん)
- あい 曖〔アイ〕 ㊦曖昧
- あい… 相… ㊦相… ㊦～戒める。
- あい 藍 ㊦青は～より出(い)でて～より青し。
- あいあいがさ 相合い傘 ㊦相合い傘 ㊦～の二人連れ。
- あいいれない 相いれない<相容れない>
- あいうち 藍色 ㊦～の着物。
- あいうち 相打ち ㊦剣道の試合で両者～となる。
- あいうち 相討ち ㊦力を尽くして戦ったが結局～となった。
- あいうち 相撃ち ㊦ピストルで撃ち合い～となる。
㊦新聞では、「相討ち・相撃ち」は、「相打ち」と書く。
- あいかぎ 合い鍵 ㊦合い鍵

- あいかわらず 相変わらず ㊦相変わらず ㊦～忙しい。～元気だ。
- あいかん 哀歓 ㊦～を共にする。
- あいがん 哀願 ㊦今度だけは見逃してくれと～する。
- あいがん 愛玩 ㊦～動物。
- あいぎ 合い着・合着(合着)
- あいきどう 合気道 ㊦合気道
- あいきよう 愛きよう(愛敬・愛嬌) ㊦～を振りまく。～のない人。
- あいくち あいくち<合口・匕首> ㊦あいくち ⇒短刀 ㊦～を突き付けて脅す。
㊦法令では、「匕首」は用いない。「あいくち」を用いる。
- あいくるしい 愛くるしい ㊦～目をした犬。
- あいけん 愛犬 ㊦～と散歩をする。
- あいご 愛護 ㊦動物の～。
- あいことなる 相異なる ㊦～考え。
- あいことば 合い言葉
- あいさつ 挨拶 ㊦㊦挨拶 ㊦例会長の～。丁寧に～する。
- あいしゅう 哀愁 ㊦～の感が漂う。～を帯びた歌声。
- あいしょう 相性<合性> ㊦相性 ㊦～が良い人と結婚する。
㊦新聞では、「相性」と書く。
- あいしょう 愛唱(愛誦) ㊦～歌。
- あいしょう 愛称 ㊦～の募集。
- あいじょう 愛情 ㊦両親の～に育まれてすくすくと育つ。

あいじょう 愛嬢 例A氏の～。
 あいじるし 合印〈合標〉
 あいず 合図 ㊦㊧合図 例手を挙
 げて～をする。～で立ち上がる。
 あいする 愛する 例動物を～心。
 あいせき 相席〈合席〉 例御～でよ
 ろしければ、どうぞ。
 あいせき 哀惜 例A君の死は全く
 ～の念に堪えない。
 あいせき 愛惜 例～の品。
 あいそ・あいそう 愛想 例～のい
 り返事。～もこそも尽き果てる。
 ～の良い態度。
 あいそ 哀訴
 あいぞう 愛憎
 あいそづかし 愛想尽かし 例そん
 な～を言わないでくれ。
 あいぞめ 藍染め ㊦藍染め
 あいだ 間 例休みの～に原稿を書
 く。AとBとの～にある点。
 あいたいずく 相対ずく〈相対尽く〉
 例これは～で決めたことだ。
 あいたいする 相対する ㊦相対す
 る 例～勢力。相対して座る。
 あいだがら 間柄 ㊦間柄 例親し
 い～。
 あいちゃく 愛着 例～を感じる。
 あいつ あいつ〈彼奴〉 例～は、本
 当にひどいやつだ。
 あいつぐ 相次ぐ 例吉報が～。事
 故が相次いで起きた。
 あいづち 相づち〈相槌・相鎚〉

㊦相づち 例話に～を打つ。
 あいて 相手〈対手〉 ㊦相手 例～
 になる。～を負かす。話し～。
 あいてかた・あいてがた 相手方
 例～の出方を待って話を進める。
 あいとう 哀悼 例～の意を表する。
 あいどく 愛読 例小説を～する。
 あいともなう 相伴う 例Bさん夫
 婦は相伴って旅行に出発した。
 あいにく あいにく〈生憎〉 ㊦あい
 にく 例～品切れです。
 あいのて 合いの手〈間の手〉 ㊦合
 いの手 例～を入れる。
 あいのり 相乗り
 あいびき あいびき〈逢引き〉
 あいびょう 愛猫
 あいぶ 愛ぶ〈愛撫〉 ⇒かわいがる
 例猫を～しながら話す。
 あいふく 合服・合い服〈間服〉
 ㊦㊧合服
 あいぼう 相棒 例彼は仕事上の古
 くからの～だ。
 あいま 合間 ㊦㊧合間 例仕事の
 ～。
 あいまい 曖昧 ㊦曖昧 例～な返
 事。態度を～にする。
 あいまって あいまって・相まって
 〈相俟って〉 ㊦あいまって
 例周到な準備と豊富な資金とが
 ～この難事業は成功した。
 あいみがい 相身互い〈相見互い〉
 例苦しいときは～だ。

あいやど 相宿 例偶然～となる。
 あいよく 愛欲(愛慾) 例～に溺れて身を減ぼす。
 あいらしい 愛らしい 例～態度。
 あいろ あい路(隘路) ⇒支障・困難・障害 例資金の調達が、唯一の～である。
 あう 合う 文合う 例計算がぴったりと～。彼とは気が～。
 あう 会う(逢う) 文会う 例3時に東京駅で人に～約束がある。
 あう 遭う 文遭う 例事故に～。
 ㊦「合う・会う・遭う」の使い分けは、「異字同訓の使い分け」参照。
 あえぐ あえぐ(喘ぐ) 例暑さに～。
 あえて あえて(敢えて) 文あえて 例～言う必要もないだろう。
 あえない あえない(敢え無い) ⇒はかない・あっけない 例～最期を遂げる。あえなく敗れた。
 あえる あえる(和える) 例ごまで～。酢みそであえた料理。
 あえん 亜鉛 例～でめっきする。
 あお 青 例信号が～になる。
 あおあお 青々 例～とした麦畑。

あおい 青い(碧い・蒼い) 文青い 例～海。
 あおい あおい(葵) 例～の紋。
 あおぎみる 仰ぎ見る 例月を～。
 あおぐ 仰ぐ 文仰ぐ 例判断を～空を～。師と～に足る人。
 あおぐ あおぐ(扇ぐ・煽ぐ) 例扇子で～。
 あおくさい 青臭い 例～臭い。まだ若いから、～ところがある。
 あおさ 青さ 文青さ 例目の覚めるような空の～。
 あおざめる 青ざめる(蒼ざめる) 例見とがめられて顔色が～。
 あおじろい 青白い(蒼白い) 例月の光が～。～顔色の男。
 あおぞら 青空
 あおだたみ 青畳
 あおな 青菜
 あおにさい 青二才 例～のくせに、生意気なことを言うな。
 あおのり 青のり(青海苔)
 あおぶくれ 青膨れ
 あおみ 青み(青味) 例もう少し～を加えればよい。

異字同訓の使い分け

あう

合う……計算が合う。目が合う。服が体に合う。好みに合う。

割に合わない仕事。駅で落ち合う。

会う……客と会う時刻。人に会いに行く。

遭う……災難に遭う。にわか雨に遭う。

(昭和47年国語審議会漢字部会)

あおむく あおむく〈[△]仰向く〉 例照明を少しあおむき加減にする。
 あおむけ あおむけ〈[△]仰向け〉 例～に寝転ぶ。
 あおやぎ 青やぎ〈[△]青柳〉 例川辺の～が美しい。
 あおり あおり〈[×]煽り〉 例不況の～を食って倒産した。
 あおる あおる〈[×]呷る〉 例ビールをぐいぐいと～ように飲む。
 あおる あおる〈[×]煽る〉 例人気を～風にあおられる。
 あか 赤 例信号が～になった。～の他人。～紫色。薄～。
 あか あか〈[×]垢〉 例こすると驚くほどの～が出る。～だらけの体。
 あかあか 赤々 例～とした夕日。
 あかあか 赤々〈[×]明々〉 例街の明かりが～と見える。
 あかい 赤い 例赤い 例夕焼けが～色。
 あかおに 赤鬼
 あかがね あかがね〈[△]銅〉 ⇒銅(どう) 例～色に輝く。～のやかん。
 あがき あがき〈[△]足掻き〉 例最後の～。
 あかぎれ あかぎれ〈[×]輝・[×]戦〉 例～だらけの手。
 あがく あがく〈[×]足掻く〉 ⇒じたばたする・もがく 例あがけば～ほど深みにはまり込む。
 あかぐみ 赤組 例赤組 例～の勝

ち。～と白組に分かれて戦う。
 あかご 赤字 例～の手をひねるより易しい。かわいい～。
 あかし あかし〈[△]証し〉 ⇒証拠・証明 例身の～を立てる。
 あかじ 赤字 例今月も又～だ。訂正は～で願います。
 あかしくらす 明かし暮らす 例毎日毎日を泣きの涙で～。
 …(に)あかして …(に)飽かして 例…(に)飽かして 例金に～書画骨とうを買う。
 あかじみる あか染みる〈[×]垢染みる〉
 あかしんごう 赤信号 例～で止まる。財政に～がともる。
 あかす 明かす 例明かす 例まんじりともせず一夜を～。種を～。
 あかす 飽かす 例飽かす 例暇に飽かして本を読む。
 あかす あかす〈[△]証す〉 例身元を～。
 あかつき 朧 例もう～も近い。この事業が成功の～には…。
 あかつち 赤土
 あがなう あがなう〈[△]購う〉 ⇒買う・買い求める 例大枚をはたいてようやく～ことができた。
 あがなう あがなう〈[△]贖う〉 ⇒つぐなう 例罪を～。
 あかぬける あか抜ける〈[×]垢抜ける〉 例あか抜けた装い。
 あかみ 赤身 例～の肉。
 あかみ 赤み〈赤味〉 例頬に幾分～

が差してきたようだ。

あかみがかかる 赤みがかかる〈赤味掛かる〉 例赤みがかった頬。

あかむけ 赤むけ〈赤剥け〉 例～した肌。

あがめる あがめる〈崇める〉 例師と～。神を～。

あからさま あからさま 例～に言えば、随分下手だ。

あからむ 赤らむ 文赤らむ 例顔が～。

あからむ 明らむ 文明らむ 例空が～。

あからめる 赤らめる 文赤らめる 例顔を～。

あかり 明かり〈灯り〉 文明かり 例～をつける。～を消す。

あがり 上がり 文上がり 例すごろくの～。物価の～下がり。

あがりぐち 上がり口 文上がり口 例2階への～。

あがる 上がる 文上がる 例値段が～。雨が～。

あがる 揚がる 文揚がる 例歓声

が～。日の丸の旗が～。

注「上がる・揚がる」の使い分けは、「異字同訓の使い分け」参照。

あがる 挙がる 文挙がる 例犯人が～。

あかるい 明るい 文明るい 例空が～。～部屋。～性格の人。

あかるさ 明るさ 文明るさ 例電灯の～が足りない。表情に～がある。

あかるみ 明るみ 文明るみ 例隠していた事件が～に出る。

あかるむ 明るむ 文明るむ 例東の空がほんのりと～。

あかわく 赤粋 例～で囲む。

あかんぼう 赤ん坊 文赤ん坊 例～を抱いた女の子。～の写真。

あき 秋 例～の空。～たけなわ。

あき 明き〈開き〉 例この服は胸の～が大きい。前～のシャツ。

あき 空き 例ホテルの～部屋。何分、時間に～がありません。

あき 開き 例窓の～が少ないので風の通りが悪い。

異字同訓の使い分け

あがる・あげる

上がる・上げる……地位が上がる。物価が上がる。腕前を上げる。お祝いの品物を上げる。

揚がる・揚げる……花火が揚がる。歓声が揚がる。たこを揚げる。船荷を揚げる。てんぶらを揚げる。

挙げる……例を挙げる。全力を挙げる。国を挙げて。犯人を挙げる。

(昭和47年国語審議会漢字部会)